

越中守大伴家持の立場 米沢 康 日本歴史

(二六、38・9) 10

倭太后 五味智英 白珠(二六九、38・9) 2

大伴氏の長としての家持 序章―大伴家の歴史―内藤 馨 文芸と批評(一、38・9) 13

万葉宮廷歌人たち―生活史の一斷― 犬養 孝 国文学(二、38・11) 7

ふたかみのはか―大津皇子は何故二上山に移葬されたか― 堀内民一 日本文学論究(三三、38・12) 10

黒人と赤人の世界 五味保義 解釈と鑑賞(二一、39・1) 6

憶良・旅人と家持の世界 北山茂夫 解釈と鑑賞(二一、39・1) 9

人麿―時代と作品― 五味智英 解釈と鑑賞(二一、39・1) 5

柿本人麿―その生活と歌風の秘密― 谷 馨 国文学(九一、39・1) 7

高市挽歌論―高木氏の所論に関連して― 吉田義孝 万葉(五、39・4) 12

人麿歌集の所収歌―巻九・一七二五番歌の左注の範圍― 森 淳司 上代文学(六、39・6) 7

石川郎女ノート―彼女をとりまく婚姻慣行をめぐって― 古庄ゆき子 日本文学(三六、39・6) 10

少年大伴家持 田辺 爵 美夫君志(七、39・

6) 4
人麻呂の異伝をめぐって―巻一・巻二の場合― 曾倉 岑 美夫君志(七、39・6) 6

憶良から虫麻呂へ―作品史的系列の成立― 井村哲夫 美夫君志(七、39・6) 10

筑前守憶良の同僚―下僚―黄葉片々― 井村哲夫 万葉(五、39・7) 5

額田王覚書―歌人額田王誕生の基盤と額田メソの採録― 万葉(五、39・10) 18

譬喩の構造―大伴家持小論― 伊藤 博 国語国文(三三、39・12) 21

五 地 理

熟田津について 上甲 利 国語と国文学(三三、21・8) 2

万葉地理研究の一方法 扇畑忠雄 国語・国文(五二、21・9) 9

万葉小倉山考 吉永 登 国語・国文(八、三、24・8) 4

「此の城の山」考―万葉集卷五(八二三)― 本田義彦 国語・国文(三二、26・1) 6

対島の渡り 西角井正慶 日本文学論究(七、26・3) 10

引馬野考 高藤 昇 国史学(六、26・7) 6

万葉の遺跡をさぐる 土屋文明他 解釈と鑑賞(七二、27・1) 115

土佐 片岡一義 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2

伊予・讃岐 白石大二 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5

沓岐・対馬 上田英夫 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2

日向・薩摩・大隅 丸野弥高 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2

肥前・肥後 大藪虎亮 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4

豊前・豊後 森本治吉 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2

周防・長門 斎藤清衛 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2

筑前・筑後 高木市之助 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4

吉備・安芸 西下経一 解釈と鑑賞(七二、27・1) 1

因幡・出雲・石見 犬養 孝 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5

越中 大島文雄 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5

能登・加賀 大津有一 解釈と鑑賞(七二、27・1) 3

若狭・越前 鴻巣隼雄 解釈と鑑賞(七二、

- 27・1) 4
陸奥 藤岡忠実 解釈と鑑賞(七二、27・1)
- 2 上野・下野 増渕恒吉 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
常陸 酒井清一 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5
上総・下総 荻原浅男 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
相模国 藤森朋夫 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
武蔵 五島美代子 解釈と鑑賞(七二、27・1) 6
信濃・甲斐 片桐頭智 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2
美濃・飛騨 各務虎雄 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2
遠江・駿河・伊豆 植松安茂 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5
尾張・三河 久松潜一 解釈と鑑賞(七二、27・1) 2
伊勢・志摩・伊賀 御巫清勇 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
近江国 寛 五百里 解釈と鑑賞(七二、27・1) 3
丹後 広田栄太郎 解釈と鑑賞(七二、27・1) 3
- 淡路・播磨 黒岩一郎 解釈と鑑賞(七二、27・1) 3
紀伊国 石井庄司 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
摂津・和泉・河内 山本正秀 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
山城の国 沢瀉久孝 解釈と鑑賞(七二、27・1) 5
大和の都 千田 憲 解釈と鑑賞(七二、27・1) 3
大和 土屋文明 解釈と鑑賞(七二、27・1) 6
万葉時代の国わけ 坂本太郎 解釈と鑑賞(七二、27・1) 4
万葉歌園地区解説 志田延義 解釈と鑑賞(七二、27・1) 1
鴨川考 新村 出 万葉(二、27・1) 3
万葉集曝井の武蔵国説 望月久貴 万葉(二、27・1) 7
高島の歌―よなか・おほぼ山など― 蜂矢宣朗 天理大学学报(八、27・7) 16
小治田之年魚道之水 奥野健治 万葉(四、27・7) 6
春の筑紫路―能古・志賀島・大浦・深江・可也の山― 若浜汐子 上代文学(一、27・9) 3
万葉集と奈良―檜葉和歌集について―
- 石井庄司 国語国文(三六、27・10) 7
奈良坊目拙解と平城坊目考 金井寅之助 芸林(三六、27・11) 9
潤和川と潤井川 新村 出 万葉(六、28・1) 5
いらこ島 吉永 登 芸林(四一、28・2) 13
万葉旅行の記―鎌倉方面― 森脇一夫 上代文学(二、28・7) 2
安房秋色 長沢美津 上代文学(三、28・7) 5
芦屋の処女塚 吉永 登 万葉集大成月報(四、28・8) 3
久邇京と泉河 角田文衛 万葉集大成月報(七、28・11) 4
潤和川再考 新村 出 万葉(二、29・4) 4
万葉集「小竹島」考 松田好夫 万葉(二、29・4) 7
水島を訪ねて 瀬古 確 万葉集大成(二、29・5) 2
「爾比多夜」歌異説 尾関栄一郎 上代文学(四、29・7) 4
依羅原・依羅地 北島設江 上代文学(四、29・7) 11
万葉泊瀬の歌枕案内 森本治吉 白路(九七、29・8) 6
彦岐・対馬万葉紀行 本田義彦 万葉集大成月報(三、29・10) 4

- 万葉集「宇敷可多山」考 本田義彦 万葉
(二四、30・1) 1
- 春日・三笠・飛鳥の地名に就いて―附「サ」
の神に関する一考察― 八木光郎 国学院
雑誌(五、四、30・3) 12
- 大伴氏の竹田の庄 山田弘道 万葉(五、30・
4) 2
- 平城京 齋藤 忠 解釈と鑑賞(二〇、四、30・
4) 1
- 大宰府 齋藤 忠 解釈と鑑賞(二〇、四、30・
4) 2
- 万葉集「可家能水奈刀」考 松田好夫 国語
と国文学(三、五、30・5) 10
- 第一回万葉旅行の記
奈良界限(第一日) 竹内金治郎 上代文
学(五、30・5) 2
- 山の辺の道と飛鳥藤原の里(第二日)
竹内金治郎 上代文学(五、30・5) 1
- 万葉植物(第三日) 橋本俊三 上代文学
(五、30・5) 1
- 宮滝喜佐谷のあたり(第三日) 久米 記
上代文学(五、30・5) 1
- 朝日照る佐太の岡辺(第四日) 三宅とみ子
上代文学(五、30・5) 1
- 近江巡視(第五日) 森本治吉 上代文学
(五、30・5) 4
- 第二回万葉旅行の記
- 奈良京・藤原京(第一日) 阿部三千雄
上代文学(五、30・5) 2
- 泊瀬方面(第二日) 富田昌治 上代文学
(五、30・5) 1
- 多武の山・奈良市(第三日) 森本治吉
上代文学(五、30・5) 2
- 万葉の小竹島 松田好夫 万葉集大成月報
(一七、30・5) 4
- 「伊予の高嶺」私考 武智雅一 万葉(六、30・
7) 3
- 志岐・対馬と万葉集 倉野憲司 解釈(一、四、
30・8) 2
- 近畿万葉地誌(二)―河内国の部(1)―
北島霞江 史跡と美術(25・6、30・8) 9
- 上代文学と風土 犬養 孝 解釈と鑑賞(三〇・
九、30・9) 4
- 近畿万葉地誌(二)―河内国の部(2)―
北島霞江 史跡と美術(二五・七、30・9) 10
- 波多の横山の巖研究 森本治吉 上代文学
(六、30・10) 9
- 近畿万葉地誌(三)―和泉国の部― 北島霞江
史跡と美術(二五・八、30・10) 10
- 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(1)―
北島霞江 史跡と美術(二五・九、30・10) 7
- 疑問の噴臺 森本治吉 万葉集大成月報(三、
30・11) 2
- 房総万葉地理考(一)―阿須波の神― 今井福
治郎 万葉集研究(万葉西会)(一、30・12) 11
- 万葉集「奥津借島」考 室田浩然 山口大学
文学会誌(六、三、30・12) 12
- 大伴乃御津 風巻景次郎 万葉(一八、31・1)
6
- 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(2)―
北島霞江 史迹と美術(二六・三、31・3) 8
- みちのくのもののかやはら 扇畑忠雄 和歌
文学研究(一、31・3) 6
- 真野の草原考 扇畑忠雄 国文学(一、二、31・
4) 2
- 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(3)―
北島霞江 史迹と美術(二六・四、31・4) 7
- 鳴島考再説 荒木良雄 万葉(六、31・4) 4
- 万葉集と博多湾周辺 倉野憲司 解釈(三、五、
31・5) 2
- 立川と片貝川―立山賦地理考― 広瀬 誠
万葉(三、31・7) 5
- 万葉集の風土的環境 高木市之助 国文学
(一、三、31・9) 5
- 黄金山考 扇畑忠雄 国文学(一、三、31・9)
3
- 真土山―万葉遺跡巡り― 若浜汐子 白路
(二、六、31・9) 2
- 机之島考―「所聞多禰」の訓をめぐる―
大谷寛治 万葉(三、31・10) 5
- 風早考 扇畑忠雄 国文学(二、五、31・11) 3

- 近畿万葉地誌(四)―摂津の国の部(4)―
 北島霞江 史迹と美術(三六、31・11) 10
 房総万葉地理考(三)―宇麻呂多の嶺を中心として― 今井福治郎 大学紀要(和洋女子大学) (一、31・11) 17
 房総万葉地理考―市原台地と十三坊塚―
 今井福治郎 国学院雑誌(七六、31・12) 11
 芦が散る難波考 扇畑忠雄 国文学 (二六、31・12) 3
 3
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(5)― 北島霞江 史迹と美術(三〇、31・12) 9
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(6)― 北島霞江 史迹と美術(七二、32・1) 6
 阿胡行宮致 山田弘道 万葉(三三、32・1) 6
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(7)― 北島霞江 史迹と美術(七三、32・2) 9
 万葉集「諸沙乃入江」考 松田好夫 国語国文学報(愛知学芸大学国語国文学会) (六、32・3) 10
 3
 机の島考 扇畑忠雄 国文学 (二二、32・3) 3
 「万葉地理の研究」序説 前田真澄 南窓(長崎県立佐世保南高校) (三、32・3) 13
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(8)―
 北島霞江 史迹と美術(七四、32・4) 8
 3
 三国山考 扇畑忠雄 国文学 (二五、32・5) 3
 笠島考 扇畑忠雄 国文学 (二六、32・6) 3
 安太多良山考 扇畑忠雄 国文学 (二七、32・7) 3
 3
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(9)―
 北島霞江 史迹と美術(七六、32・7) 6
 房総万葉地理考(五)―鹿島郡と海上郡(一)―
 今井福治郎 万葉集研究(三、32・7) 18
 伊良湖島考 扇畑忠雄 国文学(二八、32・8) 3
 3
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(10)―
 北島霞江 史迹と美術(七七、32・8) 8
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(11)―
 北島霞江 史迹と美術(七八、32・9) 10
 竜田山と狹岑島 木下正俊 万葉 (二五、32・10) 5
 武蔵野万葉紀行(一) 谷 馨 短歌(四二、32・10) 2
 3
 可刀利考 扇畑忠雄 国文学 (二二、32・11) 3
 3
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(12)―
 北島霞江 史迹と美術(七九、32・11) 14
 武蔵野万葉紀行(二) 谷 馨 短歌(四二、32・11) 7
 3
 長門島考 扇畑忠雄 国文学 (二三、32・12) 3
 3
 近畿万葉地誌(四)―摂津国の部(13)―
 北島霞江 史迹と美術(八〇、32・12) 11
 3
 美故志路の技折―北陸万葉集研究紀行―
 森 淳司 上代文学(六、32・12) 3
 武蔵野万葉紀行(完) 谷 馨 短歌(四三、32・12) 6
 房総万葉地理考(七)―ママとテコナ― 今井福治郎 和洋女子大学紀要(三、32・12) 21
 秩父の万葉歌碑(東国古典文学紀行・一) 谷 馨 国文学(三三、33・2) 4
 佐保 宮本喜一郎 国語国文(七三、33・3) 11
 11
 深津考試説―人麿との関連において― 松田芳昭 国語と国文学(三三、33・3) 10
 多摩の横山(東国古典文学紀行・二) 谷 馨 国文学(三三、33・3) 4
 房総万葉地理考(八)―朝夷郡の古代的様相―
 今井福治郎 万葉集研究(万葉西会武田祐吉博士追悼号) (三、33・5) 19
 下総国府台考(古典文学地理・二) 長谷章久 国文学 (二六、33・6) 5
 2
 伊良湖島私考 北村久也 解釈(四七、33・7) 2
 「大和島」考 富田和二郎 解釈(四七、33・7) 2
 万葉集「城の山」について 滝口 弘 国文学(三八、33・8) 5
 常陸筑波考(上) (古典文学地理五) 長谷章久 国文学 (二九、33・9) 5

常陸筑波考(上) (古典文学地理五)

長谷章久 国文学(三・二〇、33・10) 5
房総万葉地理考―アハビとの関聯において―

今井福治郎 国学院雑誌(五・二〇、二合併号、33・10、11) 13

常陸筑波考(下) (古典文学地理・六)

長谷章久 国文学(三・二、33・11) 5

豊前国鏡山―万葉遺跡巡り― 若浜汐子

白路(二四・二、34・1) 4

姫路の万葉歌 堀 八朗 国文学(四・三、34・12) 2

三井楽の崎―万葉遺跡巡り― 若浜汐子

白路(二四・二、34・2) 4

房総万葉地理考―安房の国の歌― 今井福治郎

日本文学論究(国学院大学)(二七、34・3) 5

「水島考 鶴 久 万葉(三、34・4) 10

房総万葉地理考―名木河― 今井福治郎

万葉集研究(四、34・6) 11

谷馨さんへ―万葉武蔵野紀行を読んで―

塩田良平 明日香(四・七、34・7) 2

「直海」の背景 松田芳昭 国語と国文学(三・七、34・7) 10

万葉集「夜隠」吉隠説批判―主に地理上より

みて― 林 勉 国語と国文学(三・二、34・11) 8

河内新考 森本治吉 美夫君志(一、34・12)

13

紀人ともしも―万葉真土の位相― 犬養 孝

美夫君志(一、34・12) 8

飛鳥考―古典文学地理十九― 長谷章久

国文学(五・三、35・2) 7

万葉集の「高槻村」について 山村金三郎

季刊国語教室(二二、35・2) 2

尾張知多万葉地理新考 松田好夫 愛知学芸

大学研究報告(九、35・3) 28

万葉集の弥彦歌 伊丹末雄 国文学(五・三、35・4) 4

阿倍乃嶋と佐農能岡 荒木良雄 万葉(三、35・4) 4

妹と背の山考―旅ごころ― 犬養 孝 明日香(二・五、35・5) 7

万葉集武蔵国歌 田辺幸雄 武蔵野文学(八、36・2) 5

万葉集中の「粟島」について 吉川貫一 研究集録(神戸大学教育学部)(二五、36・3) 4

東海万葉地理案内―知多篇― 松田好夫

美夫君志(三、36・3) 10

紀の川筋の万葉地理の二三について―特に「亦打山行き来と見らむ」の私見― 山田弘

通 国語と国文学(三・六、36・6) 9

対馬記―万葉集享受の問題― 中原勇夫

ハハキギ(二〇、36・10) 5

飛鳥川を遡る 山本健吉 万葉集注釈巻第十

附録(37・1) 3

広島県の万葉遺跡 下垣内和人 街路樹(六、37・2) 3

万葉の地方歌を媒介するもの 扇畑忠雄

東北文学論集(二、37・3) 8

万葉郷土歌の範囲と其の实例 森本治吉

国文学(七・三、37・5) 10

万葉集の郷土(東北地方)―奥羽(宮城・福島)― 扇畑忠雄 国文学(七・六、37・5) 6

万葉集の郷土(関東東・南部)―相模・武蔵・上総・下総・常陸― 谷 馨 国文学(七・六、37・5) 8

万葉集の郷土(中部東海道)―尾張・三河・美濃・遠江・駿河― 松田好夫 国文学(七・六、37・5) 7

万葉集の郷土(関東西・北部)―信濃・上野・下野― 田辺幸雄 国文学(七・六、37・5) 5

万葉集の郷土(北陸地方I)―越中・越後― 清田秀博 国文学(七・六、37・5) 6

万葉集の郷土(北陸地方II)―能登・越前・若狭― 竹内金治郎 国文学(七・六、37・5) 5

万葉集の郷土(大和東・北部)―添上・上辺・生駒― 堀内民一 国文学(七・六、37・5) 6

万葉集の郷土(大和西・南部)―宇田・高市

北葛城・南葛城・吉野―阪口 保 国文学

(七六、37・5) 9

万葉集の郷土(摂河地方)―摂津・河内・和

泉・播磨・伯耆・但馬―北島霞江 国文学

(七六、37・5) 10

万葉集の郷土(紀勢地方)―紀伊・伊賀・伊

勢・志摩―吉永 登 国文学(七六、37・

5) 6

万葉集の郷土(山背・近江)―山城・近江・

丹波・丹後―長谷章久 国文学(七六、

37・5) 6

万葉集の郷土(山陽・山陰)―備前・備中・

備後・安芸・周防・長門・硯・出雲・因

幡―犬養 孝 国文学(七六、37・5) 11

万葉集の郷土(淡路・四国)―淡路・阿波・

讃岐・伊予・土佐―森脇一夫 国文学

(七六、37・5) 5

万葉集の郷土(九州東・北部)―筑前・筑後・

豊前・豊後―若浜汐子 国文学(七六、

37・5) 9

万葉集の郷土(九州西・南部)・宍岐・対馬)

―肥前・肥後・薩摩・宍岐・対馬―本田

義彦 国文学(七六、37・5) 7

縁登晩秋 田辺幸雄 上代文学(三、37・5)

6

祝島―万葉遺跡めぐり―若浜汐子 白路

(一七五、37・5) 4

万葉郷土歌の範囲と其の事例(続) 森本治吉

国文学(七七、37・6) 5

残の島を環りて―万葉遺跡めぐり―

若浜汐子 白路(七六、37・6) 3

宮地山 青山樓子 美夫君志(五、37・7) 4

雲の朽綱山―万葉遺跡めぐり―若浜汐子

白路(七八、37・8) 4

みかも考 海老原 悟 国語(栃木県高等学

校国語科研究会)(三、37・9) 4

神集島―万葉遺跡めぐり―若浜汐子 白路

(七〇、37・10) 3

万葉集の足柄越と爾閉の浦 山田弘通 国語

と国文学(元二、37・11) 12

神集島(続)―万葉遺跡めぐり―若浜汐子

白路(七二、37・11) 3

万葉集遺跡の復活 石井庄司 上代文学(三、

37・11) 6

東海万葉地理考 今井福治郎 万葉集研究

(七、37・12) 17

大鳥の羽易山 大浜巖比古 万葉(四六、38・

1) 5

吉野 宮本喜一郎 万葉(四三、38・4) 12

越智の岡の辺の道―万葉大和紀行―森朝男

構想(三、38・5) 5

鹿背山の際の宮柱(上)―恭仁京河南説―

山田弘通 芸林(三、38・6) 24

鹿背山の際の宮柱(下)―恭仁京河南説―

山田弘通 芸林(四、38・6) 11

三輪山・二上山 露下悟義 上代文学研究会

会報(三、38・9) 5

日下の直超 西宮一民 万葉(四六、38・10) 18

伊良湖唱和 島 明 国学院雑誌(六四、二、

38・10) 4

天離る鄙(万葉遺跡巡り) 若浜汐子 白路

(八七、38・11) 7

宍岐・対馬行 沢瀉久孝 万葉(五、39・1)

万葉東歌紀行 谷 馨 国文学(九四、39・3)

8

万葉石見の旅 保坂弘司 国文学(九四、39・

3) 5

東北地方における歌枕の成立 北住敏夫

文芸研究(四三、39・3) 10

万葉の石見を探る―志都の石室・屋上の山―

佐野正巳 美夫君志(七、39・6) 2

大鳥の羽貝の山考一 生田蝶介 吾妹(三三、

36・12) 2

大鳥の羽貝の山考二 生田蝶介 吾妹(三四、

37・1) 2

大鳥の羽貝の山考三 生田蝶介 吾妹(三五、

37・2) 3

大鳥の羽貝の山考四 生田蝶介 吾妹(三六、

37・3) 2

大鳥の羽貝の山考五 生田蝶介 吾妹(三七、

37・4) 2

大鳥の羽員の山考六 生田蝶介 吾妹 (三六、

37・5) 2

大鳥の羽員の山考七 生田蝶介 吾妹 (三六、

37・6) 2

大鳥の羽員の山考八 生田蝶介 吾妹 (三六、

37・7) 3

大鳥の羽員の山考九 生田蝶介 吾妹 (三六、

37・8) 2

大鳥の羽員の山考十 生田蝶介 吾妹 (三六、

37・9) 2

大鳥の羽員の山考十一 生田蝶介 吾妹

(三六、37・10) 2

大鳥の羽員の山考十二 生田蝶介 吾妹

(三六、37・11) 2

大鳥の羽員の山考十三 生田蝶介 吾妹

(三六、37・12) 2

大鳥の羽員の山考十四 生田蝶介 吾妹

(三六、38・1) 2

大鳥の羽員の山考十五 生田蝶介 吾妹

(三六、38・2) 2

大鳥の羽員の山考十六 生田蝶介 吾妹

(三六、38・3) 1

六 植物・動物

みづくき考 小清水卓二 国語と国文学(三、

六、21・6) 3

万葉集「老師の花」の歌の研究 山口隆侑

短歌研究(六二、26・12) 9

奈良山豆比古神社境内の「コノテガシワ」(*Biota*

Orientalis Endle)の巨樹の実在と兎手柏再

考 小清水卓二 国語と国文学(元一、27・

1) 4

うらのはまゆふー万葉集続浜木綿歌考一

大養 孝 上代文学(一、27・9) 5

万葉集紅梅考 本田義彦 万葉(五、27・10)

9

カシワ考 森本治吉 短歌研究(二〇三、28・

3) 6

浜木綿の百重なす考 小清水卓二 万葉(七、

28・4) 2

卯の花のいろいろ 土屋文明 短歌研究(二〇、

七、28・7) 3

万葉の「土針」について 松田 修 万葉集

大成月報(六、28・12) 4

榛の木考(六) 森本治吉 白路(九三、29・3)

4

万葉集の靈威植物(上) 森本治吉 白路(九、

四、29・4) 4

万葉植物二攷 森本治吉 国語と国文学(三、

五、29・5) 9

万葉集の靈異植物(中) 森本治吉 白路(九、

五、29・5) 6

万葉集枕詞と植物について 松田 修 上代

文学(四、29・7) 5

万葉集植物便覧 若浜汐子 上代文学(四、

29・7) 23

万葉に現われた稲の一生 森本治吉 上代文

学(四、29・7) 6

千二百年前の「もみぢ」 小清水卓二 万葉

集大成月報(二四、29・12) 3

万葉歌人の見た紅葉と鹿 次田 潤 万葉集

大成月報(七、30・5) 4

万葉集にあらわれる赤花の詩性 伊原 昭

上代文学(五、30・5) 7

紫草について 松田 修 万葉集大成月報

(七、30・5) 2

浜木綿のこと 松田 修 万葉集大成月報

(二〇、30・9) 1

万葉動物雑考(その五) 森本治吉 明日香路

(七三、30・12) 3

万葉集に現われた植物・動物―万葉集教授上

の問題点― 若浜汐子 国文学(二三、31・

9) 4

万葉集における四季の景物固定について―植